大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2020年第1週 (12月30日〜1月5日) 〜2020年第2週 (1月6日〜1月12日) 今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 注意報レベル超え続く」

2020年第1週と第2週をあわせて報告する。第1週は年末年始休暇による診療実日数の減少を考慮する必要がある。

第1週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は529例であり、前週比81.5%減であった。 定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、水 痘、伝染性紅斑の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.60、0.41、0.21、0.20、0.10であった。

第2週の報告数の総計は2,043例であり、前週比286.2%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、伝染性紅斑、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.72、2.11、0.54、0.52、0.49であった。

インフルエンザは第1週が37%減の3,348例、定点あたり報告数は11.16であった。第2週は70%増の5,685例で、定点あたり報告数は18.89となった。大阪市西部38.29、大阪市北部27.90、南河内22.75、泉州20.06、堺市18.45である。全ブロックで注意報レベルである10を超えた。

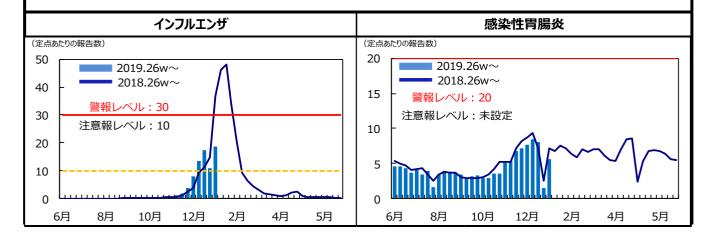


表1.大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2020年 第2週1月6日~1月12日)

第2週の 順位	第1週の 順位	感染症	2020年 第2週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2019年 第2週の 定点あたり 報告数	2020年第2週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.72	257%増	7.15	1歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.11	412%増	1.83	6歳_15%
3	4	水痘	0.54	168%増	0.57	5歳_14%
4	5	伝染性紅斑	0.52	442%増	0.56	6歳_22%
5	3	RSウイルス感染症	0.49	129%増	0.59	1歳未満_54%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	18.89	70%增	36.81	20歳以上_31%

第2週のコメント

~梅毒~ 大阪府における2019年の梅毒報告数は1000例を超えたが、2018年を下回っている

全数把握感染症 梅毒 国内の梅毒の報告数は、2010年より増加傾向にあ (累積報告数) る。大阪府における2019年の報告数は、1000例を超 ••••2017 えたが、前年を下回った。感染症法が施行された1999 -2018 1200 — 2019 年以降、2018年は最も多い報告数であった。梅毒は、 2020 1000 性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮 800 膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。 600 また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅 400 毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で 200 治癒が期待できる。 感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク) 梅毒とは(国立感染症研究所)

表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第2週1月6日~1月12日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています、詳細は感染症情報センターホームページン 「週報】発生動向調査>全数報告、をご覧ください。)

(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】発生動向調査> 全数報告 をこ覧ください。)											
	疾患名 〔〕内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	川嶋	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3 類感染症	腸チフス	1						1			1
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	6	1	1					1	3	9
	アメーバ赤痢	1		1							1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1							4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1						3
】 5類感染症	後天性免疫不全症候群	2								2	2
3 規恩朱進	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3							2	1	7
	侵襲性肺炎球菌感染症	3			1				1	1	5
	梅毒	9		1		1				7	10
	百日咳	1								1	3
結核	結核 新登録患者数:102名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 31名)										
(2019年11月分)	(府内累積報告数 1,130名、内 肺·喀痰塗抹陽性 434名)										

(2020年1月14日 集計分)